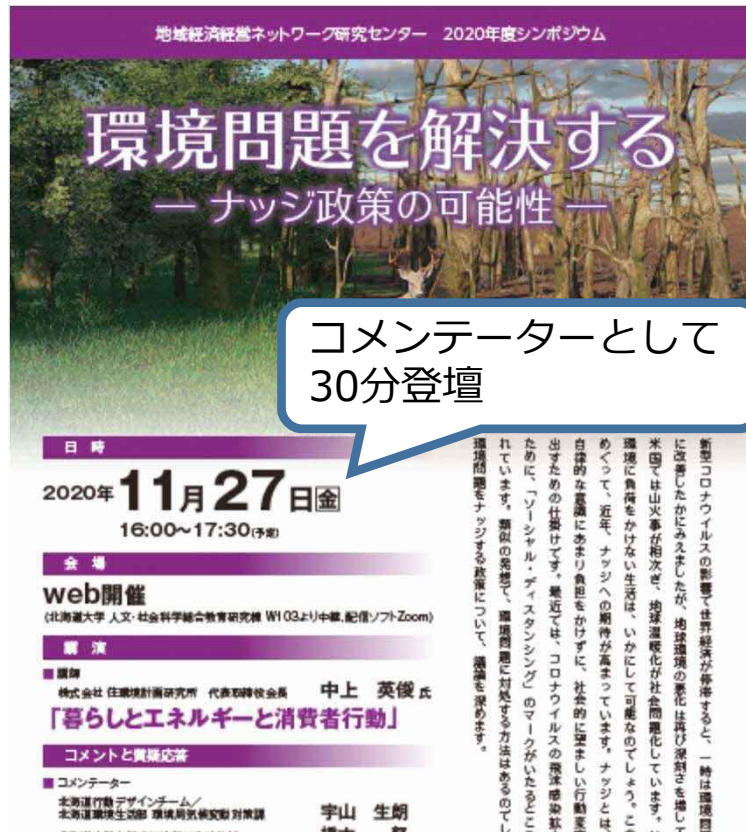


# 事業①実績

○ 計**9**回開催（R2.10～R3.2） ※一部の行事を画像掲載

- ・ 大学・他自治体・NPOなど多様な主体連携による訴求行事や研修会を開催



## R2.11 北海道大学シンポジウム-環境ナッジ政策の可能性・・・研究者等100名程度

- ・ 北海道大学との関係強化
- ・ アカデミア関係者への活動周知

## R3.11 開発行政スキルアップ研修 ・・・開発局職員20名程度

- ・ 北海道開発局への活動周知
- ・ 協力関係の構築

国土交通省 北海道開発局 (開発行政スキルアップ研修)



「ひと」と「ひと」  
輝き続ける北海道

チームの活動を紹介し、  
今後の展開について議論

### 変化する北海道の情勢

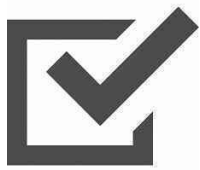


社会情勢の変化に対応し、輝く北海道づくりを進めるには、  
多様な人々とながら協同するコミュニティの形成が必要

コミュニティ形成 有識者やオピニオンリーダー等との人脈形成や  
先進的、改革的な取組を学び、意見交換。




ほか**5**件  
実施



## 事業①実績

### 「興味関心を促す」総括

- ✓ 情報共有ツールの  slack を活用し、訴求行事等の参加者や事例創出におけるヒアリング対象者など、ナッジに興味を持った人材を加えながら、適宜ナッジに関する知見・情報の共有や意見交換を実施。  
**⇒道内における幅広かつ分野横断的な仲間づくりや人材育成を展開できた。**
- ✓ 5ヶ月と短期間ながら、事業①にて関係省庁や学術機関、自治体など多様な主体と連携を進めながら実施したことで、活動の幅が広がり、次年度の企画検討など発展的な動きが生じた。  
**⇒この繋がりを継続的に道政へ役立てるとともに、引き続き仲間づくりや幅広な連携先の獲得に努める。**